

ikumoriプロジェクト

年次報告書 2023



NISSIN EX.

年次報告書 2023



目次

1. はじめに
2. ikumori プロジェクトとは /SDGs との関連性
3. ikumori プロジェクト第2期（2022年7月～2023年6月）トピックス
4. ikumori 製品の販売実績と植樹実績
5. ikumori 製品の施工事例 / ユーザー様の声
6. ikumori 製品のご紹介



1. はじめに



2021年「森からいただいた広葉樹をいただいた量だけ森にお返し」を掲げスタートした「ikumoriプロジェクト」。2023年6月30日で第2期を終え、2023年7月から2024年6月までの第3期を迎えております。2021年10月に第1回の植樹で始動し、同年12月よりikumori製品の正式発売を開始いたしまして、大変多くの反響を頂戴いたしております。本年は5月12日に第3回植樹祭、続いて10月7日に第4回植樹祭をいずれも前回までと同じ北海道赤平市のikumori1号地で実施いたしました。これにより、第2期分として予定の植樹を完了いたしましたので、当年度報告書作成のはこびとなりました。「ikumori」は林業関係者、製品生産者、販売者、購入者と、様々な立場の方々にご賛同いただいで進めるプロジェクトです。この報告が皆様とのコミュニケーションの一つとなり、息の長い広がりのある活動の一助となることを願っております。

株式会社 ニッシンイクス
マーケティンググループ
グループ長 加藤 学



2. ikumori プロジェクトとは /SDGs との関連性



ikumori プロジェクトでは、自然に育った北海道の広葉樹をできるだけ無駄なく効率よく使用して、製品を製造販売、製品に使用した量に見合う広葉樹を植樹します。広葉樹林の面積のバランスを維持し、より豊かな生態系を育て将来世代に貴重な森林をひきついでいきます。そしてプロジェクトの対象 ikumori 製品はインテリア素材を検討される方々にエシカルな製品の選択肢をご提供いたします。

ikumori プロジェクトは以下にご紹介する SDGs 目標を中心に取り組み、サステナブルな社会づくりに貢献いたします。



15. 陸の豊かさを守ろう

ikumoriプロジェクトは、使用した北海道産広葉樹の原木量に見合う広葉樹の苗木を植樹することによって、持続可能な森林の利用を実現します。また植樹を通じて、土壌の保全をはかり、豊かな生態系を育みます。



12. つくる責任 つかう責任

ikumoriプロジェクトでは、杢(もく)や節など通常は除去される部分も意匠として使用することにより、廃棄木材を削減しています。また、ウェブサイトや SNS などを通じて、森林保全やエシカル消費などについて伝え、エシカルなライフスタイルへの関心を高めていきます。



13. 気候変動に具体的な対策を

ikumoriプロジェクトの推進によって、二酸化炭素の固定と吸収に貢献します。ikumori製品は国産材100%使用製品ですので外国産材の使用と比較すると輸送エネルギー=CO2排出の削減につながります。



17. パートナシップで目標を達成しよう

ikumoriプロジェクトは弊社だけではなく、製造事業者や森林組合、専門家などさまざまな方々との協働で展開していきます。

今後取り組んでいく目標

目標の 14 と 4 に貢献する取り組みも今後行います。





3. ikumori プロジェクト第2期 (2022年7月～2023年6月) トピックス

◎ikumori 生き物調査スタート



ikumori プロジェクトでは落葉広葉樹の森林面積の維持に取り組むことで、豊かな生態系を育んでいくことを目的の一つとしています。広葉樹の植樹がもたらす生物多様性への効果検証のための取り組みとして ikumori 生き物調査をスタートいたしました。

ikumori プロジェクト初の生き物調査は、第2回植樹祭(2022年10月15日)に参加してくれた子供たちを中心にスマートフォンアプリを使用して、植樹イベントと合わせて実施いたしました。調査の時期や場所、環境条件や規模などについて、様々な方々からのご意見もいただきながら、継続して実施し、発見や学習の場にしてまいりたいと思います。

◎ソーシャルプロダクツ・アワード 2023 受賞



SOCIAL
PRODUCTS
AWARD
2023

ikumori プロジェクトとその製品が、一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会が主催する「ソーシャルプロダクツ・アワード 2023」において、ソーシャルプロダクツ賞を受賞しました。このアワードは持続可能な社会の実現につながるソーシャルプロダクツを表彰する制度で、フローリングなどの木材を使用した内装材の業界では初の受賞となります。

◎サステナブルに着目したご採用事例

ikumori プロジェクトでは、原料となる国産広葉樹を可能な限り無駄なく使いながら木の姿と質感を生かすインテリア素材として製品をお届けしています。木材資源のカスケード利用にもつながる製品コンセプトにより個性的な表情を持つ内装材となっていることから、発売以来多くの方々に製品の採用をご検討いただいております。ご検討案件の傾向として、この個性的な表情を意匠的な理由からご選択いただくケースが比較的多くみられます。

一方で、意匠的な面もさることながら、サステナブルな素材選び、あるいはエシカルな素材選びに軸足を置かれたご案件が徐々にではありますが顕在化してまいりました。また、国産材や北海道産材をキーワードにご照会いただくケースも増加してまいりました。



4. ikumori 製品の販売実績と植樹実績

◎植樹樹種

ikumori 製品に使用している 3 種類の広葉樹、ナラ・ニレ・センの苗木を植樹いたしました。また、製品の対象樹種とは別に植樹エリアの植樹を増やす取り組みとして、先期のタモに続き、イタヤカエデ、カラマツの苗も植樹いたしました。



ナラ

いわゆるどんぐりの木。多くの生き物を育むことからヨーロッパでは「森の王様」と言われる。虎斑とよばれる虎の背に似た模様が人気で経年変化も楽しい。



ニレ

真っ直ぐな木目が美しいニレ。別名、アカダモ、オヒョウニレとよばれる 2 種類のニレを使用。リズム感のある木目が特徴。



セン

鋭いトゲがあり、質感が桐に似ていることからハリギリとも呼ばれる。柔らかさと丈夫さを兼ね備え、明るいくリーム色の木目が美しい。

◎植樹場所 / 北海道赤平市

プロジェクトパートナーの空知単板株式会社様に植樹場所を準備いただき北海道 赤平市に植樹いたしました。



◎第2期（2022年7月～2023年6月）製品販売実績及び植樹実績

下表 -1 のとおり、各樹種の原木消費実績を上回る植樹を完了いたしました。一方、植樹計画数に対しましては約 30%程度の実績となりました。これは植樹を予定しておりました山林の伐採計画の変更に対応できなかったことが大きな要因となりました。下表 -2 のとおり 1 期～2 期の植樹数の累計では原木消費実績に対して約 2 倍の植樹実施数となっております。

販売・植樹実績

<表 -1 第2期実績>

| | ナラ | ニレ | セン |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| フローリング販売実績 | 733.86 m ³ | 599.30 m ³ | 766.26 m ³ |
| パネル販売実績 | 468.38 m ³ | 317.74 m ³ | 81.88 m ³ |
| 原木消費実績 (※) | 29 本 | 34 本 | 42 本 |
| 植樹計画数 (※) | 116 本 | 136 本 | 168 本 |
| 植樹実施数 (2023年5月12日) | 30 本 | 30 本 | — |
| 植樹実施数 (2023年10月7日) | 10 本 | 10 本 | 50 本 |
| 植樹実施数 合計 | 40 本 | 40 本 | 50 本 |

<表 -2 プロジェクト累計植樹実績>

| | ナラ | ニレ | セン |
|-----------------|--------------|-------------|-------------|
| 原木消費実績 (※) | 54 本 | 38 本 | 48 本 |
| 植樹計画数 (※) | 241 本 | 152 本 | 197 本 |
| 植樹実施数 合計 | 165 本 | 56 本 | 79 本 |

※原木消費実績及び植樹計画数については製品に使用する原木の材積、仕様に適合する単板の材積及び木質建材として適合する歩留まり等から原木消費実績を算出し、さらに植樹した苗の 20%～ 25%が生育すると仮定した想定概算が植樹計画数です。



5. ikumori 製品の施工事例 / ユーザー様の声

実際に ikumori 対象商品をご採用いただいた施工事例をご紹介します。



壁：ikumori パネル 北海道産ニレ

物件名：株式会社ルトラ様 設計：株式会社 FRS 様

用途：オフィス

「お客様から、木を使ったカッコいいオフィスにしたいとのご要望があり、私たちのご提案のなかで、木の内装材も選定していくことになりました。そして、デザイン検討の段階で、お客様が通るエントランス空間の壁に木を使用することに決まりました。

ikumori 製品はデザイン性が高く、環境配慮製品であることから今回のお客様へ自信をもってご提案できると感じ、内装材としてまず候補にあがりました。他社の製品とも比較しましたが、ikumori 製品の黒っぽい筋の風合いや雰囲気、内装デザインにとってもマッチしていたので、最終的にお客様へご提案することになりました。」



床：ikumori フローリング 北海道産ナラ、ニレ、セン

物件名：サステナブル住宅 宮町 Re.CORE 設計：株式会社鎌田工務店様

用途：住宅

「Re.CORE は「デザイン × サステナブル」をコンセプトとした次世代型企画住宅です。デザインはシンプルで永く使えるものを基本とし、素材にはリユース、リデュース、リサイクルの観点に加え、デザイン性や素材感が光るものを吟味しています。そんな素材選びに疲弊していた中、ニッシンイクスから ikumori 製品の紹介メールが届きました。北海道で育った広葉樹で出来た製品を使用した分だけ植樹するとは新しい発見で、即、ニッシンイクスの営業の方に連絡しました。

自分が環境配慮に貢献している・意識している証となるところがとても良いです。基盤まで国産という点や無駄を極力なくして利用しつつ、それがデザインの一つになっている点も魅力的です。」



床：ikumori フローリング 北海道産ナラ

物件名：popke 平屋 月寒東モデルハウス 設計：竹内建設株式会社様

用途：住宅

「道産材と北海道で培った技術を用いて住まうことで「ふるさとの自然も暮らしも豊かになる。」をコンセプトとし、次の世代を考え、快適さと意匠性を兼ね備えた、注文住宅の新ブランド「popke」。床材には生命力を感じさせる表情と独自の木目の美しさを併せ持つ北海道産のナラを使用した「ikumori フローリング」を使用しました。構造材や塗り壁、床材、換気システムにおいて、地元北海道産の材や北海道の企業が開発したシステムを採用しています。」



5. ikumori 製品のご紹介

ikumori FLOORING



ナラ

ニレ

セン

ikumori フローリングの3つの特徴

- ①表層単板は北海道を代表する広葉樹の挽板を使用。基材の合板にいたるまですべて100%国産材&国内製造
- ②樹木の逞しさと生命力を感じさせる表情と木目の美しさを併せ持つ
- ③幅150mm、長さ1800mmと森の木立を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

| 商品名 | 規格 |
|--------------|--------------------|
| 複合北海道産ナラ150幅 | 【厚み】14(表層単板2mm) |
| 複合北海道産ニレ150幅 | 【幅】150mm |
| 複合北海道産セン150幅 | 【長さ】1800mm |
| | 【仕上げ】UV塗装(抗ウイルス加工) |
| | 【入数】1.62㎡/6枚/束 |

ikumori PANEL



ナラ

ニレ

セン

ikumori パネルの3つの特徴

- ①表層単板は北海道を代表する広葉樹の突板を使用。
- ②スライサーによる突板のため、挽板と同様の自然な木目の表情。また、スライス技術を駆使した突板は、自然な荒々しさを表現。
- ③幅180mm×長さ1820mmと森の立ち木を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

| 商品名 | 規格 |
|--------|-----------------------|
| 北海道産ナラ | 【厚み】6mm |
| 北海道産ニレ | 【幅】180mm |
| 北海道産セン | 【長さ】1820mm |
| | 【仕上げ】ウレタン樹脂塗装(リアルマット) |
| | 【入数】10枚/束 |
| | 【取得認定】不燃材料認定NM-1316 |



お問い合わせ

株式会社ニッシンイクス
マーケティンググループ

〒745-0814 山口県周南市鼓海2丁目118番63

TEL.0834-36-1700 FAX.0834-36-1711

Email : info@ikumori.jp

ikumori プロジェクト特設サイト URL

<https://ikumori.jp/>



コーポレートサイト URL

<https://www.nissin-ex.co.jp/>

